

一 般質問

6月18日に開会された第2回定例会では、2名の議員から2件の一般質問がありました。



松永議員

サンフラワーパーク 環境整備について

松永議員

サンフラワーパーク北竜温泉が建設されて二十四年経過しているのでそろそろ建物の改修工事などが出てくると予想される。その前に温泉の出入り口の拡大を希望する。出来れば大型二台ぐらいがすれ違える幅が必要だと考える。これに伴い、駐車場にあるグリーンベルトの撤去をする事によって駐車場の拡大が望める。この撤去については開発局との協議が必要である。経費や面積などの要件があり、開発に依頼することに

よって、それなりに北竜町が

利点を得的のではないか。なお、駐車場の整備については除雪作業の効率化、あるいは雪の堆積場所の面積の拡大になると思われる。これらの事から考えると、道の駅のトイレの移設と温泉水のガス抜き装置の撤去が必要である。仮にトイレの場所を移動するとすれば、直売所のみりつちの付近が良いのではないか。なお、これについては当時の温泉の配水管等を考慮する必要がある。なお、トイレについては洋式であるが、ウォッシュ

レットがついていないと言う事で特に女性には不評であると利用する方々から聞いています。以上これらについて理事者の考えを伺う。

佐野町長

サンフラワーパークの環境整備につきましては、設備の老朽化により、毎年改修を余儀なくされ、大規模改修の検討に入っていると伺う。質問の「国道からの出入り口の拡大」については、私は今の状態が最良と考えている。北竜温泉の出入口については利用者の安全確保第一の為、施設管理者が町ということとで一方通行としてご協力頂いているところである。また、温泉の入り口には「北竜門」があり、大型車が二台通行するためには大規模な改築を必要とするため、現状維持とする。次に「グリーンベルトの撤去による駐車帯の拡大及び雪の堆積場の拡大」については、新しい井戸が今計画されているので揚湯がなされた段階で古い井戸を埋めて、ガスセパレーターを撤去して更地



にする予定である。その際に駐車帯の拡充は可能であるが、今後の状況により検討したい。また、トイレの移設については、みりつちと温泉の駐車場の中間にあるということで、利用者からは利便性が一番高いと思われる。みりつちの建物が見えないということで、移設の意見もあったが、現在は大きな看板でみりつちに誘導している。

最後に「道の駅トイレのウォッシュレット化」については検討中である。オストメイトトイレと併せて今後早いうち

松永議員

国道からの出入口については一方通行は利用者の協力で成り立っているのが現状。人員輸送、バス、ハイヤーについては業者をお願いすれば良いが、道路交通法上何ら関係ない。ただ、町道として認められて頂いているだけである。先程も述べたが、拡大については用地費用のことも含めて開発局と何度も協議し、ガス抜き装置や、グリーンベルトを撤去することによって、現状では細々としていて大型車には不便であるが、誰でも便利に利用できる駐車場になると思うので検討を願う。北竜門については一千五百万円をかけて改修したばかりだが、次期改修時には温泉経営を考えると費用も大きいので改修



しないで、撤去して利用しやすい駐車場にした方が良いのではないか。このような駐車場を望むのは吹雪の時に通行し易くするために行政要請と開発局の力で出来た防雪柵が

周りにあり、大雪災害の時など、空いている駐車場が待避所・避難場となることもある。大きな駐車場という印象を与えてほしい。最後にトイレの事だが、オストメイトトイレの装置、設置数、設置場所等の考えを伺う。なお、サンフラワーパーク温泉は憩いの場所として半永久的になければいけないところである。維持経費なども掛からないように温泉を経営することが妥当だと思いが、考えをお聞きしたい。

佐野町長

管理者として事故のないように出入り口で一方通行で利用して頂いているところである。現況が最良と考えているのでご理解願いたい。従来は開発の駐車場と町の駐車場のグリーンベルトではなく、駐車場の中にグリーンベルトが

あり、芝生を植えた周りに縁石部分がまだ他に四か所あるが、除雪のために不便があるという事で早い時期に撤去して今の形になった。出入り口の拡幅については先般、検討し、現況で充分と考えてい

る。

高橋企画振興課長

オストメイトトイレにつきましては人工肛門を付けられている方で袋に詰められたものをトイレで洗浄し装着するという方が増えている。公共施設の中でも設置が増加しているの、道の駅も通過客が多い中で必要と検討中である。

松永議員

今、オストメイトトイレの設置は、これを十か所に付けるのは大変ではないか。通常、男、女、身障者トイレに十か所ずつで良いと考える。ウォシュレットについては簡単なもので便座を変えることで対応出来る。十か所変えても大きな経費にはならないと思う。全箇所のおストメイトトイレは多額の費用が掛かるので、

必要ないと考える。

佐野町長

オストメイトトイレについては全箇所設置ということではなく、身体障害者トイレに

おいての設置を考えている。洋式トイレ、ウォシュレットは必須と考えているのでこの件については検討する。トイレについては、移設はしない。ご理解願いたい。



佐々木議員

地方創生に向けての 考え方について

佐々木議員

今、日本中が地方創生戦略

の町のあり方について町長の考えを伺う。

の地方版を策定し始めている。人口二千人を割ろうとする今、北竜町は現状認識、分析を基にした目標設定をする必要がある。人口推移、転入、転出状況、出生率の推移等を分析し、人口減少のスピードを抑える為の目標を定めていくのが地方版総合戦略の骨子である。特に若者が魅力を感じる町づくりが重要となる。危機感を共有し、町が一つになり議論することから始まる。今後五年後、十年後、五十年後

佐野町長

北竜町では地方創生協議会を設立して四十五年後の人口ビジョンと今年から五年間の総合戦略の策定、検証を行う。人口ビジョンの策定については、現状を充分分析しなければならぬと思っている。現状分析の中で、合計特殊出生率は北空知の中でも低い状況にある。国立社会保障人口研究所が発表した四十五年後の北竜町の人口は七百四十二

人と報道されている。今後何らかの対策をとらなくてはならない。人口減少対策を計上した総合戦略策定に向けて、町民の意見を反映すべく町民アンケートを実施し、現在内容の分析を行っている。又、町内の若者や女性の意見を聞く場としてワークショップを開催し、その中で問題点や課題を集約すると共に現在行っている事業の検証、評価をしながら新たな事業案を計画し、北竜町総合戦略検討委員会の中で整理し、五年間の総合戦略にすべく進めている。

佐々木議員

地域振興は自ら行うものである。過去の北竜町の取り組みに自信をもって北竜町らしい総合戦略策定を期待する。



議員コラム

ひまわりの里について

今年も早いもので、夏の季節がやって来た。ひまわり十字軍による草取りが、六月二十二日から二十四日の三日間の予定で行われ、大勢の人達が参加されて、作業に励んでいた。二十三日は雨の影響で残念ながら休みとなったが、多くの人の良い花を咲かせたという気持ちでこれから大きく育つひまわりに届いて欲しい。中学生の世界のひまわりはしっかりと成長してきている。多くの観光客の目を楽しませてくれることでしょう。ボランティア協会の方や中学生のガイドが丁寧に観光客を接待してくれる。本当にありがたいことだ。ひまわりの花言葉のように敬愛でのおもてなし、本当にありがたい。今年もどうか、素晴らしいひまわりが咲いてくれることを願う。

北竜町B&Gプールについて

今年のプールは昨年度の工事での過機が新しくなり、シャワー室がカーテンの仕切りからユニットに変わり更衣室も天井、壁、床がきれいになった。トイレも洋式となり利用しやすくなった。六月三十日には佐野町長、本多教育長、保育園児数十人参加しての「リニューアルオープン式」ノースドラゴンもかけてくれて子供たちも大喜び。当日は水温二十三度で外気温も低く泳げるような状態ではなかったが、早く暖かな日が続いて、多くの子供や大人が、きれいなプールで長い期間楽しんでほしい。怪我や事故なくプールからはしゃぐ子供達の声でいっぱいになって欲しい。

(藤井)